

出張講義

地域
づくり

河川景観のアーカイブ化と流域住民意識の形成

担当教員: 張 明軍 准教授

防災・減災を主要な目的とする河川整備は自然環境を配慮した河川改修などの工事を実施し、河川景観の形成・保全を重視する一方、河川景観のアーカイブ化を河川整備方針のなかに取り入れる必要がある。一方、流域住民との連携を図る「かわまちづくり」を行う際、河川環境へのイメージによる地域住民の態度を配慮することの重要性が明瞭である。そして、河川環境へのイメージが地域住民の態度形成にどのように影響を及ぼすか、そもそも河川環境へのイメージ形成の実態を解明する必要がある。

この授業で河川景観のアーカイブ化の意義と流域住民意識の形成について解説します。

授業内容:

- ★河川景観のアーカイブ化
- ★流域住民意識の実態と規定要因

- 受講人数の目安: 20~30人
- 所要時間の目安: 40~50分
- 高校でご準備いただきたいもの: パソコン、プロジェクター、スクリーン